

（案）

国土交通大臣 殿

氏名又は名称 十日町市地域公共交通活性化協議会
住 所 新潟県十日町市千歳町 3 丁目 3 番地
代 表 者 氏 名 会長 関口 芳史

地域公共交通計画認定申請書

地域公共交通計画のうち、地域公共交通確保維持事業に係る計画を別紙のとおり定めたので、関係書類を添えて申請します。

※本申請書に、記載すべき事項を全て記した地域公共交通計画を添付すること。

※前回の申請から、新たに記載、もしくは変更した箇所に下線を表示

令和7年6月 日

十日町市公共交通活性化協議会

1. 地域公共交通確保維持事業に係る目的・必要性

公共交通利用者は、人口減少や少子高齢化、モータリゼーションの進展などによって減少傾向にある。また、新型コロナウイルス感染症による行動変容に伴う利用者の減少や、事業者の経営状況の悪化に伴う路線廃止や減便、運転手の高齢化など、公共交通を取り巻く環境は厳しさを増している。

このような中、自動車を運転しない高齢者や高校生などにとって、地域公共交通は重要な移動手段であり、今後も確保していかなければならない。また、高齢化の進行や運転免許証の返納など、今後はさらに公共交通サービスの必要性が高まるものと考えられる。

このため、地域公共交通確保維持事業により、広域交通（十日町市外との広域的な移動）及び地域間交通（十日町市中心部と中山間地域の移動）の役割を担う地域間幹線系統を確保・維持し、地域住民の交通手段の存続を図る必要があり、当協議会は、令和6年2月に、地域公共交通確保維持事業を含む十日町市地域公共交通計画を策定した。

2. 地域公共交通確保維持事業の定量的な目標・効果

(1) 事業の目標

地域間幹線系統である「長岡～十日町線」、「小千谷～十日町線」、「十日町～中里～津南線」、「十日町～宮中～津南線」及び「森宮野原駅～津南～清津峡～越後湯沢線」について、以下のとおり目標を設定する。

- ア それぞれの系統の利用者数について、前年比 100 パーセントを上回る。
- イ それぞれの系統の収支率について、前年比 100 パーセントを上回る。
- ウ それぞれの系統に係る十日町市の負担額について、前年比 100 パーセントを下回る。

（十日町市地域公共交通計画 P16～17、27、45 参照）

(2) 事業の効果

地域間幹線系統を維持することにより、地域住民等の日常生活に必要不可欠な移動手段が確保される。また、地域間幹線系統と地域内フィーダー系統のネットワークが連携することで、効果的・効率的な運行体系が実現できる。さらには、外出促進・地域活性化にもつながる。

3. 2. の目標を達成するために行う事業及びその実施主体

以下の取組について、交通事業者と十日町市が連携を図りながら実施する。

- ・ 運行内容の見直しや他の公共交通サービスとの乗継ダイヤの調整（交通事業者、十日町市）
- ・ 1日乗り放題券の活用による輸送人員の拡大（交通事業者）
- ・ 運行内容の変更等に伴うデジタル公共交通マップの更新（十日町市）

（十日町市地域公共交通計画 P51、54、58 参照）

4. 地域公共交通確保維持事業により運行を確保・維持する運行系統の概要及び運送予定者

表1を添付

【表1の概要】

（単位：千円）

	事業者数	系統数	国庫補助申請額
R8年度補助（R7.10～R8.9運行）	2	5	17,793
R9年度補助（R8.10～R9.9運行）	2	5	17,793
R10年度補助（R9.10～R10.9運行）	2	5	17,793

- ① 予定している時刻表・系統図
別紙を添付（系統図）

- ② 運行予定者決定の流れ

- 市内乗合バス事業者へ本計画に登載を希望する系統について、調査を実施（市ホームページを通じて周知）
- 以下の点から現在運行しているバス事業者を運行事業者に決定
 - ・ バス事業者は、1つの事業者が継続して運行することで地域の交通手段を安定的に確保できるとともに、雇用面も含め地域経済の安定に資すると考えられる。
 - ・ 当該系統を現に運行している事業者は、当該系統の運行に関する知識・経験を有し、地域住民の信頼を得られており、安全・安心な輸送が期待できる。
 - ・ 運行系統の近隣に事業所を有しているため、大雪など不測の事態にも迅速に対応でき、円滑な運行が期待できる。

- ③ 輸送量が15人～150人/日と見込んだ根拠となる算出式
「表1－5」を添付（平均乗車密度算定表）

5. 地域公共交通確保維持事業に要する費用の総額、負担者及びその負担額

表2を添付

6. 2. の目標・効果の評価手法及び測定方法

交通事業者・十日町市保有のデータによるモニタリング・評価を実施

7. 別表 1 の補助対象事業の基準ホただし書に基づき、協議会が平日 1 日当たりの運行回数が 3 回以上で足りると認めた系統の概要

【地域間幹線系統のみ】

表 3 を添付

8. 別表 1 の補助対象事業の基準ニに基づき、協議会が「広域行政圏の中心市町村に準ずる生活基盤が整備されている」と認めた市町村の一覧

【地域間幹線系統のみ】

表 4 を添付

9. 生産性向上の取組に係る取組内容、実施主体、定量的な効果目標、実施時期及びその他特記事項

【地域間幹線系統のみ】

「別紙 生産性向上の取組」のとおり

10. 地域公共交通確保維持改善事業を行う地域の概要

【地域内フィーダー系統のみ】

該当なし

11. 車両の取得に係る目的・必要性

【車両減価償却費等国庫補助金・公有民営方式車両購入費国庫補助金を受けようとする場合のみ】

該当なし

12. 車両の取得に係る定量的な目標・効果

【車両減価償却費等国庫補助金・公有民営方式車両購入費国庫補助金を受けようとする場合のみ】

(1) 事業の目標

該当なし

(2) 事業の効果

該当なし

13 車両の取得計画の概要及び車両の取得を行う事業者又は地方公共団体、要する費用の総額、負担者とその負担額 **【車両減価償却費等国庫補助金・公有民営方式車両購入費国庫補助金を受けようとする場合のみ】**

該当なし

14. 老朽更新の代替による費用の削減等による地域公共交通確保維持事業における収支の改善に係る計画（車両の代替による費用削減等の内容、代替車両を活用した利用促進策）

【公有民営方式車両購入費国庫補助金を受けようとする場合のみ】

該当なし

15. 貨客混載の導入に係る目的・必要性 【貨客混載導入経費国庫補助金を受けようとする場合のみ】
該当なし
16. 貨客混載の導入に係る定量的な目標・効果 【貨客混載導入経費国庫補助金を受けようとする場合のみ】
(1) 事業の目標
該当なし
(2) 事業の効果
該当なし
17. 貨客混載の導入に係る計画の概要、要する費用の総額、内訳、負担者及び負担額 【貨客混載導入経費国庫補助金を受けようとする場合のみ】
該当なし
18. 協議会の開催状況と主な議論
<p>○ 令和6年2月6日（書面開催）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 十日町市地域公共交通計画（案）について →計画について、承認が得られた。 <p>○ 令和7年6月9日</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 十日町市地域公共交通計画の一部変更について →地域公共交通確保維持事業に伴う計画の一部変更について、承認が得られた。 <p>○ 令和7年6月 日（書面開催）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域間幹線系統確保維持費国庫補助金（令和8事業年度分）に係る地域公共交通計画認定申請書（案）について ・ 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金（令和8事業年度分）に係る地域公共交通計画認定申請書（案）について (協議後、結果を記載)
19. 利用者等の意見の反映状況
(協議後、結果を記載)

【本計画に関する担当者・連絡先】

(住 所) 新潟県十日町市千歳町3丁目3番地

(所 属) 総務部企画政策課

(氏 名) 綱 翔太

(電 話) 025-757-3193

(e-mail) t-kikaku@city.tokamachi.lg.jp

表1 地域公共交通確保維持事業により運行を確保・維持する運行系統の概要及び運行予定者(地域間幹線系統)

令和8年度

都道府県 (市区町 村)	運行予定者名	運行系統名 (申請番号)	確保維持事 業に要する 国庫補助額 (千円)	特 例 措 置
新潟県 (十日町 市)	越後交通株式会社	E13 長岡～十日町	4,945.5	
		E25 小千谷～十日町	5,001.5	
	事業者計 2系統		9,947	
	南越後観光バス株 式会社	2 十日町～中里～津南	3,574.0	
		3 十日町～宮中～津南	634.5	
		4 湯沢～森宮野原	3,638.0	
	事業者計 3系統		7,846	
	合 計 5系統		17,793	

※令和9年度、令和10年度については、令和8年度事業から土日・祝日の日数による運行回数等の違いを除き、変更がないため省略

表2 地域公共交通確保維持事業に要する費用の総額、負担者及びその負担額（地域間幹線系統用）

事業者名	越後交通株式会社	令和8年度
※令和9年度、令和10年度については、令和8年度事業から 土日・祝日の日数による運行回数等の違いを除き、変更がないため省略		

1. 申請事業者の概要

(1) 基準期間：R6年度実績（R5.10.1～R6.9.30）

補助対象期間の 前々年度(基準期間※)の 損益状況	乗合バス事業					
	営業収益	997,486 千円	営業外収益	7,435 千円	経常収益(イ)	1,004,921 千円
	営業費用	1,816,264 千円	営業外費用	12,669 千円	経常費用(ロ)	1,828,933 千円
	営業損益	▲ 818,778 千円	営業外損益	▲ 5,234 千円	経常損益	▲ 824,012 千円
補助対象期間の 前々年度の 実車走行キロ(ハ)	4,858,308.4 km					経常収支率 54.94 %

(2) 基準期間の前年度：R5年度実績（R4.10.1～R5.9.30）

基準期間の前年度の 損益状況	乗合バス事業					
	営業収益	985,300 千円	営業外収益	4,930 千円	経常収益(イ)	990,230 千円
	営業費用	1,773,746 千円	営業外費用	14,752 千円	経常費用(ロ)	1,788,498 千円
	営業損益	▲ 788,446 千円	営業外損益	▲ 9,822 千円	経常損益	▲ 798,268 千円
基準期間の前年度の 実車走行キロ(ハ')	5,111,344.8 km					経常収支率 55.36 %

(3) 基準期間の前々年度：R4年度実績（R3.10.1～R4.9.30）

基準期間の前々年度の 損益状況	乗合バス事業					
	営業収益	939,312 千円	営業外収益	12,838 千円	経常収益(イ)	952,150 千円
	営業費用	1,818,064 千円	営業外費用	16,525 千円	経常費用(ロ)	1,834,589 千円
	営業損益	▲ 878,752 千円	営業外損益	▲ 3,687 千円	経常損益	▲ 882,439 千円
基準期間の前々年度の 実車走行キロ(ハ'')	5,434,898.8 km					経常収支率 51.89 %

(補助対象事業者の「基準期間※を最終年度とする連続した過去3年間」における実車走行キロ当たり経常費用等)

補助ブロック名	補助対象事業者の実車 走行キロ当たり経常費用 (基準期間の前々年度) $\square'' \div \text{ハ}'' = \text{a}$	補助対象事業者の実車走行 キロ当たり経常費用 (基準期間の前年度) $\square' \div \text{ハ}' = \text{b}$	補助対象事業者の実車走行 キロ当たり経常費用 (基準期間) $\square \div \text{ハ} = \text{c}$
羽越	337円.55銭	349円.90銭	376円.45銭

※「基準期間」とは、補助対象期間の前々年度の前年度の補助対象期間をいう。

2. キロ当たり補助対象経常費用及び収益

補助ブロック名	補助対象事業者の実車 走行キロ当たり経常 費用 $(\text{a}+\text{b}+\text{c})/3 = \text{ニ}$	地域キロ当たり 標準経常費用 ホ	キロ当たり経常費用 ニとホのいずれか少ない額 ヘ	キロ当たり経常収益 $\text{イ} \div \text{ハ} = \text{ト}$
羽越	354円63銭	394円29銭	354円63銭	206円84銭

3. 補助対象系統ごとに要する費用、負担者とその負担割合

(1) 系統概要

補助ブロック名	申請番号	特例措置	運行系統名	運行系統			計画運行日数	計画運行回数 () ①＝カッコ内	計画平均乗車密度 ②	計画輸送量 ①×②＝③	系統キロ程 (全体キロ) チ	地域公共交通再編事業を実施する区域におけるキロ程 オ	系統キロ程と地域公共交通再編事業を実施する区域におけるキロ程との比率 オ÷チ＝ク	補助ブロック外乗入部分のキロ程 リ	同一補助ブロック都道府県外乗入部分のキロ程 ヌ	他路線との競合部分に係るキロ程 ル	他系統との競合率 ル÷チ	補助ブロック外乗入部分、同一補助ブロック都道府県外乗入部分及び他路線との競合部分以外のキロ程の比率 (チー(リ＋ヌ＋ル))÷チ＝ラ							
				起点	主な経由地	終点																			
羽越	(E13)		長岡～十日町	長岡駅前	小千谷・十日町	十日町車庫前	365	日	2180.5 (5.9)	回	5.0	29.5人	往 49.1km 復 49.1km	49.1km	往 0.0km 復 0.0km	0.0km	0.000	往 0.0km 復 0.0km	0.0km	往 34.6km 復 34.6km	34.6km	往 0.0km 復 0.0km	0.0km	0.000	29.531
羽越	(E25)		小千谷～十日町	小千谷車庫前	千手	十日町車庫前	365	日	2062.0 (5.6)	回	4.9	27.4人	往 34.7km 復 35.6km	35.1km	往 0.0km 復 0.0km	0.0km	0.000	往 0.0km 復 0.0km	0.0km	往 18.1km 復 18.1km	18.1km	往 0.0km 復 0.0km	0.0km	0.000	48.433
合計			2系統									往 83.8km 復 84.7km	84.2km	往 0.0km 復 0.0km				往 0.0km 復 0.0km	0.0km	往 52.7km 復 52.7km	52.7km	往 0.0km 復 0.0km	0.0km		

合計 シートの 申請番号	往復	14.50
E13	往復	14.50
E25	往復	16.60
	往復	17.50

(2) 補助対象経費の算定

補助ブロック名	申請番号	特例措置	補助ブロック外乗入部分及び同一補助ブロック都道府県外乗入部分以外のキロ程の比率 (チー(リ+ヌ))÷チ＝ラ	計画実車走行 キロ ワ	補助対象 経常費用 の見込額 ヘ×ワ以下の 額：カ	(d+e+f)/3 =ノ	補助対象系統のキロ当たり経常収益									補助対象 経常収益 の見込額 ノ×ワ以上の 額：ヨ	補助対象経常 費用から経常 収益を控除した 額 カーヨ＝タ	補助対象経費 の限度額 カ×9/20＝レ	タ又はレのうちい ずれか少ないほう の額 ソ
							基準期間の前々年度			基準期間の前年度			基準期間						
							経常収益 ヤ ^a	実車走行 キロ マ ^a	補助対象系 統の実車走 行キロ当た り経常収益 ヤ ^a ÷マ ^a ＝d	経常収益 ヤ ^a	実車走行 キロ マ ^a	補助対象系 統の実車走 行キロ当た り経常収益 ヤ ^a ÷マ ^a ＝e	経常収益 ヤ	実車走行 キロ マ	補助対象系 統の実車走 行キロ当た り経常収益 ヤ÷マ＝f				
羽越	(E13)		29.531%	209,897.8km	74,436,056 円	131円.56銭	29,318,679 円	280,145.1 km	104円.65銭	42,184,982 円	277,811.8 km	151円.84銭	38,650,489 円	279,663.6 km	138円.20銭	27,614,154 円	46,821,902 円	33,496,225 円	33,496,225 円
羽越	(E25)		48.433%	144,958.6km	51,406,668 円	114円.78銭	12,961,651 円	143,107.7 km	90円.57銭	18,899,252 円	160,242.3 km	117円.94銭	21,909,156 円	161,268.2 km	135円.85銭	16,638,348 円	34,768,320 円	23,133,000 円	23,133,000 円
合計				354,856.4km	125,842,724 円		42,284,573 円	423,262.7km		61,084,318 円	438,054.1km		60,559,645 円	440,931.8km		44,252,502 円	81,590,222 円	56,629,225 円	56,629,225 円

合計 シートの 申請番号	E13	E25
--------------------	-----	-----

(3) 負担者及び負担割合

補助 ブロック名	申請 番号	特 例 措 置	ソのうち補助ブロック外乗入部分、同一補助ブロック都道府県外乗入部分及び他路線との競合部分以外に係るもの ソ×ラ＝ツ	ソのうち補助ブロック外乗入部分及び同一補助ブロック都道府県外乗入部分以外に係るもの ソ×ラ'＝ツ'	計画平均乗車密度が5人未満の路線 ツ×みなし運行回数／①計画運行回数＝ネ	補助対象経費 ナ	計画額 ナ×1/2＝ラ	経常費用から経常収益を控除した額 ニ×ワーヨ＝ム	損失額から国庫補助額を控除した額 ムーラ＝ウ	ウの負担者とその負担割合								
										新潟県		市町村		その他の者		事業者自己負担		「その他の者」の具体的概要
										負担額	負担割合	負担額	負担割合	負担額	負担割合	負担額	負担割合	
羽越	(E13)		9,891,770 円	9,891,770 円	円	9,891千円	4,945.5千円	46,821,902 円	41,876,402 円	4,945,500 円	11.8%	3,921,711 円	9.4%	32,994,926 円	78.8%	14,265 円	0.0%	国、県、長岡市、小千谷市
羽越	(E25)		11,204,005 円	11,204,005 円	10,003,575 円	10,003千円	5,001.5千円	34,768,320 円	29,766,820 円	5,001,500 円	16.8%	5,635,340 円	18.9%	17,928,980 円	60.2%	1,201,000 円	4.0%	国、県、小千谷市
合計			21,095,775 円	21,095,775 円	10,003,575 円	19,894千円	9,947千円	81,590,222 円	71,643,222 円	9,947,000 円	13.9%	9,557,051 円	13.3%	50,923,906 円	71.1%	1,215,265 円	1.7%	

合計 シートの 申請番号	E13	E25
	29.531%	48.433%

表2 地域公共交通確保維持事業に要する費用の総額、負担者及びその負担額（地域間幹線系統用）

事業者名	南越後観光バス株式会社	令和8年度
※令和9年度、令和10年度については、令和8年度事業から 土日・祝日の日数による運行回数等の違いを除き、変更がないため省略		

1. 申請事業者の概要

(1) 基準期間：R6年度実績（R5.10.1～R6.9.30）

補助対象期間の 前々年度(基準期間※)の 損益状況	乗合バス事業					
	営業収益	149,508 千円	営業外収益	743 千円	経常収益(イ)	150,251 千円
	営業費用	326,147 千円	営業外費用	986 千円	経常費用(ロ)	327,133 千円
	営業損益	▲ 176,639 千円	営業外損益	▲ 243 千円	経常損益	▲ 176,882 千円
補助対象期間の 前々年度の 実車走行キロ(ハ)	956,181.8 km				経常収支率	45.92 %

(2) 基準期間の前年度：R5年度実績（R4.10.1～R5.9.30）

基準期間の前年度の 損益状況	乗合バス事業						
	営業収益	149,532 千円	営業外収益	8,447 千円	経常収益(イ)	157,979 千円	
	営業費用	344,637 千円	営業外費用	1,035 千円	経常費用(ロ)	345,672 千円	
	営業損益	▲ 195,105 千円	営業外損益	7,412 千円	経常損益	▲ 187,693 千円	
基準期間の前年度の 実車走行キロ(ハ')	1,062,956.0 km					経常収支率	45.70 %

(3) 基準期間の前々年度：R4年度実績（R3.10.1～R4.9.30）

基準期間の前々年度の 損益状況	乗合バス事業					
	営業収益	126,632 千円	営業外収益	11,642 千円	経常収益(イ)	138,274 千円
	営業費用	351,568 千円	営業外費用	1,149 千円	経常費用(ロ)	352,717 千円
	営業損益	▲ 224,936 千円	営業外損益	10,493 千円	経常損益	▲ 214,443 千円
基準期間の前々年度の 実車走行キロ(ハ'')	1,143,429.0 km					
					経常収支率	39.20 %

(補助対象事業者の「基準期間※を最終年度とする連続した過去3年間」における実車走行キロ当たり経常費用等)

補助ブロック名	補助対象事業者の実車 走行キロ当たり経常費用 (基準期間の前々年度) $\square'' \div \text{ハ}'' = \text{a}$	補助対象事業者の実車走行 キロ当たり経常費用 (基準期間の前年度) $\square' \div \text{ハ}' = \text{b}$	補助対象事業者の実車走行 キロ当たり経常費用 (基準期間) $\square \div \text{ハ} = \text{c}$
羽越	308円.47銭	325円.19銭	342円.12銭

※「基準期間」とは、補助対象期間の前々年度の補助対象期間をいう。

2. キロ当たり補助対象経常費用及び収益

補助ブロック名	補助対象事業者の実 車走行キロ当たり経常 費用 $(\text{a}+\text{b}+\text{c})/3 = \text{ニ}$	地域キロ当たり 標準経常費用 ホ	キロ当たり経常費用 ニとホのいずれか少ない額 ヘ	キロ当たり経常収益 イ÷ハ=ト
羽越	325円26銭	394円29銭	325円26銭	157円13銭

3. 補助対象系統ごとに要する費用、負担者とその負担割合

(1) 系統概要

補助 ブロック名	申請 番号	特例 措置	運行系統名	運行系統			計画運行日 数	計画運行回数 ()	計画平均乗 車密度	計画輸送量	系統キロ程 (全体キロ)	地域公共交通再編事業を 実施する区域におけるキロ 程	系統キロ程と 地域公共交 通再編事業 を実施する区 域におけるキ ロ程との比率	補助ブロック外 乗入部分のキロ程	同一補助ブロック 都道府県外乗入 部分のキロ程	他路線との競合 部分に係るキロ程	他系統との 競合率	補助ブロック外乗入 部分、同一補助 ブロック都道府 県外乗入部分及 び他路線との競 合部分以外のキ ロ程の比率				
				起点	主な 経由地	終点													①＝カッコ内	②	①×②＝③	チ
羽越	2		十日町～中里 ～津南	十日町車庫前	中里	津南営業所前	365	日	2884.0 (7.9)	回	7.0	55.3人	往 20.3km (平均) 復 19.4km 19.8km	往 0.0km (平均) 復 0.0km 0.0km	0.000	往 0.0km (平均) 復 0.0km 0.0km	往 5.5km (平均) 復 5.5km 5.5km	往 0.0km (平均) 復 0.0km 0.0km	0.000	%	%	72.222
羽越	3		十日町～宮中 ～津南	十日町車庫前	宮中	津南営業所前	365	日	1081.0 (4.0)	回	9.3	37.2人	往 21.8km 復 20.9km 21.3km	往 0.0km 復 0.0km 0.0km	0.000	往 0.0km 復 0.0km 0.0km	往 5.5km 復 5.5km 5.5km	往 0.0km 復 0.0km 0.0km	0.000	%	%	74.178
羽越	4		湯沢～森宮野 原	湯沢車庫前	清津峡入口	森宮野原駅前	365	日	1460.0 (3.9)	回	5.0	19.5人	往 37.4km 復 37.4km 37.4km	往 0.0km 復 0.0km 0.0km	0.000	往 0.7km 復 0.7km 0.7km	往 19.7km 復 19.7km 19.7km	往 0.0km 復 0.0km 0.0km	0.000	%	%	45.454
合計			3系統										往 79.5km 復 77.7km 78.5km	往 0.0km 復 0.0km 0.0km		往 0.7km 復 0.7km 0.7km	往 30.7km 復 30.7km 30.7km	往 0.0km 復 0.0km 0.0km				

合計 シートの 申請 番号
2
3
4

全体キロに 対する市町村 内のキロ
往 14.8
復 13.9
往 復 16.3
往 復 15.4
往 復 17.7
往 復 17.7

(2) 補助対象経費の算定

補助ブ ロック名	申請 番号	特 例 措 置	補助ブロック外 乗入部分及び 同一補助ブロッ ク都道府県外乗 入部分以外の キロ程の比率	計画実車走行 キロ ワ	補助対象 経常費用 の見込額 ヘ×ワ以下の 額:カ	(d+e+f)/3 =ノ	補助対象系統のキロ当たり経常収益									補助対象 経常収益 の見込額 ノ×ワ以上の 額:ヨ	補助対象経常 費用から経常 収益を控除した 額 カーヨ=タ	補助対象経費 の限度額 カ×9/20=レ	タ又はのうちの いずれか少ないほう の額 ソ
							基準期間の前々年度			基準期間の前年度			基準期間						
							経常収益 ヤ ^a	実車走行 キロ マ ^a	補助対象系 統の実車走 行キロ当た り経常収益 ヤ ^a ÷マ ^a =d	経常収益 ヤ ^b	実車走行 キロ マ ^b	補助対象系 統の実車走 行キロ当た り経常収益 ヤ ^b ÷マ ^b =e	経常収益 ヤ	実車走行 キロ マ	補助対象系 統の実車走 行キロ当た り経常収益 ヤ÷マ=f				
羽越	2		72.222%	114,418.3km	37,215,696 円	238円.75銭	31,961,389 円	141,611.9 km	225円.69銭	30,394,859 円	129,599.5 km	234円.52銭	31,020,709 円	121,154.3 km	256円.04銭	27,317,369 円	9,898,327 円	16,747,063 円	9,898,327 円
羽越	3		74.178%	46,030.6km	14,971,912 円	288円.07銭	11,220,655 円	46,405.4 km	241円.79銭	15,821,578 円	52,797.4 km	299円.66銭	16,197,201 円	50,183.1 km	322円.76銭	13,260,034 円	1,711,878 円	6,737,360 円	1,711,878 円
羽越	4		45.454%	109,374.4km	35,575,117 円	132円.43銭	9,892,556 円	112,168.0 km	88円.19銭	17,865,366 円	116,800.0 km	152円.95銭	18,289,563 円	117,120.0 km	156円.16銭	14,484,451 円	21,090,666 円	16,008,802 円	16,008,802 円
合計				269,823.3km	87,762,725 円		53,080,018 円	300,206.6km		64,081,883 円	299,196.9km		65,507,473 円	288,457.4km		55,061,854 円	32,700,871 円	39,493,225 円	27,619,007 円

合計 シートの 申請 番号
2
3
4

(3) 負担者及び負担割合

補助ブ ロック名	申請 番号	特 例 措 置	ソのうち補助ブロック外乗入部 分、同一補助ブロック都道府県 外乗入部分及び他路線との競 合部分以外に係るもの	ソのうち補助ブロック外乗入 部分及び同一補助ブロック 都道府県外乗入部分以外に 係るもの	計画平均 乗車密度 が5人 未満の路線	補助対象経費	計画額	経常費用から 経常収益を控除 した額	損失額から国庫補 助額を控除した額	ウの負担者とその負担割合								
										新潟県		市町村		その他の者		事業者自己負担		「その他の者」の具 体的概要
										負担額	負担割合	負担額	負担割合	負担額	負担割合	負担額	負担割合	
羽越	2		7,148,769 円	7,148,769 円	円	7,148千円	3,574.0千円	9,898,327 円	6,324,327 円	3,574,000 円	56.5%	0 円	0.0%	2,749,557 円	43.5%	770 円	0.0%	国、県、津南町
羽越	3		1,269,836 円	1,269,836 円	円	1,269千円	634.5千円	1,711,878 円	1,077,378 円	634,500 円	58.9%	0 円	0.0%	442,041 円	41.0%	837 円	0.1%	国、県、津南町
羽越	4		7,276,640 円	7,276,640 円	円	7,276千円	3,638.0千円	21,090,666 円	17,452,666 円	3,638,000 円	20.8%	2,405,043 円	13.8%	11,109,297 円	63.7%	300,326 円	1.7%	国、県、南魚沼市、 湯沢町、津南町、栄 村
合計			15,695,245 円	15,695,245 円	0 円	15,693千円	7,846千円	32,700,871 円	24,854,371 円	7,846,500 円	31.6%	2,405,043 円	9.7%	14,300,896 円	59.4%	301,932 円	1.2%	

合計 シートの 申請 番号
2
3
4

全体キロに 対する市町村 内のキロ割 合
72.222%
74.178%
47.326%

事業者名	越後交通株式会社	
運行計画担当部門	(担当部門の名称) 運輸営業部	(責任者役職・氏名) 次長 佐山 尚生
補助金担当部門	(担当部門の名称) 運輸営業部	(責任者役職・氏名) 次長 佐山 尚生

運行系統別輸送実績及び平均乗車密度算定表（令和 4 年度）

実態調査日 令和3年10月1日～令和4年9月30日 通年実施



運行系統							年間輸送実績					経常収益			経常費用	平均乗車密度算定				市町村による回数券購入等の有無	備 考
申請番号	運行系統名	起点	主 な 経由地	終点	キロ程 (km)	運行回数 (A) (回)	輸送人員 (人)	1 人平均乗車キロ (km)	輸 送 人キロ (人×和)	運送収入 (B) (円)	実車走行キロ (C) (km)	運送雑収 (D) (円)	営業外収 益 (E) (円)	計 (B) + (D) + (E)	1 系統当り 経常費用 (円)	運賃改定前 適用 の平均賃率×日数+ 運賃改定後 適用 の平均賃率×日数 総適用日数	平均賃 率 (F) (円)	平均乗車密度 (B) / (C) / (F) (G)	輸送量 (A) × (G)		
27	長岡～十日町	長岡駅前	小千谷・十日町南側	十日町車庫前	49.1	7.9	75,844	15.2	1,152,828.8	28,405,062	280,145.1	517,849	395,768	29,318,679	94,562,977		23.75	4.2	33.1	有・ 無	
40	小千谷～十日町	小千谷車庫前	干手	十日町車庫前	34.8	5.6	34,168	12.2	416,849.6	12,633,637	143,107.7	185,922	142,092	12,961,651	48,306,004		24.58	3.5	19.6	有・ 無	
合計					83.9		110,012			41,038,699	423,252.8	703,771	537,860	42,280,330	142,868,981						

- 〔記載要領〕
- この書類は、補助対象期間（補助金交付要綱第 5 条で定める期間）の前々年度の実績について、補助対象期間の末日現在における状態に応じて、運行系統ごとに作成すること（補助対象系統のみ記載すること）。
 - 申請番号は、生活交通確保維持改善計画認定申請書の申請番号と同一のものとすること。
 - 起点及び終点は停留所名をもって記載し、主な経由地は他の運行系統と区別できる停留所名をもって記載し、キロ程は小数点以下第 1 位まで記載すること。
 - 運行回数は、補助対象期間の前々年度中における 1 日の平均を小数点第 1 位（第 2 位以下切り捨て）まで算出して記載すること。なお 1 往復を運行回数 1 回とし、循環系統の場合は、1 循環で運行回数 1 回とする。
 - 1 人平均乗車キロは、運行系統ごとに実態調査に基づいて記載すること。
 - 輸送人キロは、輸送人員 × 1 人平均乗車キロにより算出すること。
 - 運送収入は、当該運行系統の補助対象期間の前々年度の運送収入について、原則として年 1 回以上実態調査を実施し、その結果により算出すること。また、実態調査日についても記載すること。
 - 実車走行キロは、小数点第 1 位（第 2 位以下切り捨て）まで算出して記載すること。
 - 1 系統当たり経常費用は、補助対象事業者の実車走行キロ当たり経常費用に当該系統の実車走行キロを乗じたものとする。
 - 平均賃率は、停留所相互間総運賃額÷停留所相互間総キロにより銭単位まで算出すること（銭未満切捨て）。ただし、補助対象期間中の前々年度に運賃改定があった場合の当該運行系統の平均賃率は、表中の計算式により算出すること。なお、この場合において、スト及び積雪等の理由によりバスが運行されなかった日は適用日数から除くものとする。
 - 平均乗車密度は (B) ÷ (C) ÷ (F) と連算し、その値について、小数点第 1 位（第 2 位以下切り捨て）まで算出すること。
 - 備考欄には、補助対象期間の前々年度中に運行回数の変更があった場合、スト及び積雪等の理由によりバスが運行されなかった期間があった場合又は運賃改定があった場合等特記すべき事項について、変更年月日又は期間及びその内容を記載すること。
 - 各運行系統のキロ程、輸送人員、輸送人キロ、運送収入、実車走行キロ、運送雑収及び営業外収益の合計欄については必ず記載すること。
 - 市町村による回数券購入等の有無は、運送収入に含まれるものの有無について記載すること。

事業者名	越後交通株式会社	
運行計画担当部門	（担当部門の名称） 運輸営業部	（責任者役職・氏名） 次長 佐山 尚生
補助金担当部門	（担当部門の名称） 運輸営業部	（責任者役職・氏名） 次長 佐山 尚生

運行系統別輸送実績及び平均乗車密度算定表（令和 5 年度）




実態調査日 令和4年10月1日～令和5年9月30日 通年実施

運行系統						年間輸送実績					経常収益			経常費用	平均乗車密度算定				輸送量 (A) × (G)	市町村 による 回数券 購入等 の有無	備 考
申請 番号	運 行 系統名	起 点	主 な 経 由 地	終 点	キロ程 (km)	運行 回数 (A) (回)	輸送人員 (人)	1 人 平 均 乗車キ ロ (km)	輸 送 人キロ (人・km)	運送収入 (B) (円)	実車走行 キ (C) (km)	運送雑収 (D) (円)	営業外 収 益 (E) (円)	計 (B) + (D) + (E)	1 系統当り 経常費用 (円)	運賃改定前 適用 運賃改定後 適 用の平均賃率 × 日数 + の平均賃率 × 日 数 総適用日数 上記数式にR7.3.1運賃改定分を反映させた平均賃率	平 均 率 賃 率 (F) (円) R5補助年 度	平均乗 車 密 度 (B) / (C) (F') (G)			
(第25号)	長岡～十日町	長岡駅前	小千谷・十日町南駅	十日町車庫前	49.1	7.9	21,924	19.9	436,283.9	12,201,547	82,040.6	194,003	62,097	12,457,647	28,706,006	28.16	26.97	5.2	41	有・ 	
(第38号)	小千谷～十日町	小千谷車庫前	千手	十日町車庫前	34.8	6.2	20,815	15.9	330,959.3	8,965,300	77,610.2	142,548	45,627	9,153,475	27,155,792	28.66	26.97	4.0	24.8	有・ 	
合計					83.9		42,739		767,243	21,166,847	159,650.8	336,551	107,724	21,611,122	55,861,799						

- 【記載要領】
- この書類は、補助対象期間（補助金交付要綱第 5 条で定める期間）の前々年度の実績について、補助対象期間の末日現在における状態に応じて、運行系統ごとに作成すること（補助対象系統のみ記載すること）。
 - 申請番号は、生活交通確保維持改善計画認定申請書の申請番号と同一のものとすること。
 - 起点及び終点は停留所名をもって記載し、主な経由地は他の運行系統と区別できる停留所名をもって記載し、キロ程は小数点以下第 1 位まで記載すること。
 - 運行回数は、補助対象期間の前々年度中における 1 日の平均を小数点第 1 位（第 2 位以下切り捨て）まで算出して記載すること。なお 1 往復を運行回数 1 回とし、循環系統の場合は、1 循環で運行回数 1 回とする。
 - 1 人平均乗車キロは、運行系統ごとに実態調査に基づいて記載すること。
 - 輸送人キロは、輸送人員 × 1 人平均乗車キロにより算出すること。
 - 運送収入は、当該運行系統の補助対象期間の前々年度の運送収入について、原則として年 1 回以上実態調査を実施し、その結果により算出すること。また、実態調査日についても記載すること。
 - 実車走行キロは、小数点第 1 位（第 2 位以下切り捨て）まで算出して記載すること。
 - 1 系統当たり経常費用は、補助対象事業者の実車走行キロ当たり経常費用に当該系統の実車走行キロを乗じたものとする。
 - 平均賃率は、停留所相互間総運賃額 ÷ 停留所相互間総キロにより銭単位まで算出すること（銭未満切捨て）。ただし、補助対象期間中の前々年度に運賃改定があった場合の当該運行系統の平均賃率は、表中の計算式により算出すること。なお、この場合において、スト及び積雪等の理由によりバスが運行されなかった日は適用日数から除くものとする。
 - 平均乗車密度は (B) ÷ (C) ÷ (F) と連算し、その値について、小数点第 1 位（第 2 位以下切り捨て）まで算出すること。
 - 備考欄には、補助対象期間の前々年度中に運行回数の変更があった場合、スト及び積雪等の理由によりバスが運行されなかった期間があった場合又は運賃改定があった場合等特記すべき事項について、変更年月日又は期間及びその内容を記載すること。
 - 各運行系統のキロ程、輸送人員、輸送人キロ、運送収入、実車走行キロ、運送雑収及び営業外収益の合計欄については必ず記載すること。
 - 市町村による回数券購入等の有無は、運送収入に含まれるものの有無について記載すること。

事業者名	南越後観光バス株式会社	
運行計画担当部門	<small>(担当部門の名称)</small> 乗合営業部	<small>(責任者役職・氏名)</small> 部長代理 武藤 文昭
補助金担当部門	<small>(担当部門の名称)</small> 乗合営業部乗合バス課	<small>(責任者役職・氏名)</small> 課長 関 正太

運行系統別輸送実績及び平均乗車密度算定表（令和 4 年度）

運行系統							年間輸送実績					経常収益			経常費用	平均乗車密度算定				輸送量 (A) × (G)	市町村による 回数券 購入等 の有無	備 考
申請 番号	運 行 系統名	起点	主 な 経由地	終点	キロ程 (km)	運行 回数 (A) (回)	輸送人員 (人)	1 人平均 乗車キロ (km)	輸 送 人キロ (人・km)	運送収入 (B) (円)	実車走行 キ ロ (C) (km)	運送雑収 (D) (円)	営業外 収 益 (E) (円)	計 (B) + (D) + (E)	1 系統当り 経常費用 (円)	運賃改定前 適用 運賃改定後 適用 の平均賃率 × 日数 + の平均賃率 × 日 数 総適用日数	平 均 率 (F) (円)	平均乗 車 密 度 (B) / (C) / (F) (G)				
第2号	十日町～中里～津南	十日町車庫前	中里	津南営業所前	19.8	9.7	52,059	12.3	640,326.5	21,077,625	102,274.9	62,083	1,943,446	23,083,154	31,548,752			32.41	6.3	61.1	有・ 	
第3号	十日町～宮中～津南	十日町車庫前	宮中	津南営業所前	21.3	3.5	18,860	12.9	243,290.9	7,600,110	34,422.6	22,385	700,762	8,323,257	10,618,338			30.95	7.1	24.8	有・ 	
第4号	湯沢～森宮野原	湯沢車庫前	清津峡入口	森宮野原駅前	40.0	4.0	10,218	14.2	145,097.8	4,163,500	55,276.8	53,085	462,975	4,679,559	16,212,676			29.87	2.5	10.0	有・ 	
合計					81.1		81,137		1,028,715	32,841,235	191,974.3	137,553	3,107,183	36,085,971	58,379,766							

〔記載要領〕

1. この書類は、補助対象期間（補助金交付要綱第5条で定める期間）の実績について、補助対象期間の末日現在における状態に応じて、運行系統ごとに作成すること（補助対象系統のみ記載すること）。

2. 申請番号は、地域公共交通計画認定申請書の申請番号と同一のものとする。

3. 起点及び終点は停留所名をもって記載し、主な経由地は他の運行系統と区別できる停留所名をもって記載し、キロ程は小数点以下第1位まで記載すること。

4. 運行回数は、補助対象期間における1日の平均を小数点第1位（第2位以下切り捨て）まで算出して記載すること。なお1往復を運行回数1回とし、循環系統の場合は、1循環で運行回数1回とする。

5. 1人平均乗車キロは、運行系統ごとに実態調査に基づいて記載すること。

6. 輸送人キロは、輸送人員 × 1人平均乗車キロにより算出すること。

7. 運送収入は、当該運行系統の補助対象期間の運送収入について、原則として年1回以上実態調査を実施し、その結果により算出すること。また、実態調査日についても記載すること。

8. 実車走行キロは、小数点第1位（第2位以下切り捨て）まで算出して記載すること。

9. 1系統当り経常費用は、補助対象事業者の実車走行キロ当たり経常費用に当該系統の実車走行キロを乗じたものとする。

10. 平均賃率は、停留所相互間総運賃額 ÷ 停留所相互間総キロにより銭単位まで算出すること（銭未満切り捨て）。ただし、補助対象期間中に運賃改定があった場合の当該運行系統の平均賃率は、表中の計算式により算出すること。なお、この場合において、ストライキ、積雪等の理由によりバスが運行されなかった日は適用日数から除くものとする。

11. 平均乗車密度は(B) ÷ (C) ÷ (F)と連算し、その値について、小数点第1位（第2位以下切り捨て）まで算出すること。

12. 備考欄には、補助対象期間中に運行回数の変更があった場合、ストライキ、積雪等の理由によりバスが運行されなかった期間があった場合又は運賃改定があった場合等特記すべき事項について、変更年月日又は期間及びその内容を記載すること。

13. 各運行系統のキロ程、輸送人員、輸送人キロ、運送収入、実車走行キロ、運送雑収及び営業外収益の合計欄については必ず記載すること。

14. 市町村による回数券購入等の有無は、運送収入に含まれるものの有無について記載すること。

事業者名	南越後観光バス株式会社	
運行計画担当部門	<small>(担当部門の名称)</small> 乗合営業部	<small>(責任者役職・氏名)</small> 部長代理 武藤 文昭
補助金担当部門	<small>(担当部門の名称)</small> 乗合営業部乗合バス課	<small>(責任者役職・氏名)</small> 課長 関 正太

運行系統別輸送実績及び平均乗車密度算定表（令和 5 年度）

運行系統							年間輸送実績					経常収益			経常費用	平均乗車密度算定				輸送量 (A) × (G)	市町村による 回数券 購入等 の有無	備 考
申請 番号	運 行 系統名	起点	主 な 経由地	終点	キロ程 (km)	運行 回数 (A) (回)	輸送人員 (人)	1 人 平均 乗車キロ (km)	輸 送 人キロ (人・km)	運送収入 (B) (円)	実車走行 キ ロ (C) (km)	運送雑収 (D) (円)	営業外 収 益 (E) (円)	計 (B) + (D) + (E)	1 系統当り 経常費用 (円)	運賃改定前 適用 運賃改定後 適用 の平均賃率 × 日数 + の平均賃率 × 日 数 総適用日数	平 均 率 (F) (円)	平均乗 車密 度 (B) / (C) / (F) (G)				
第2号	十日町～中里～津南	十日町車庫前	中里	津南営業所前	19.8	8.9	47,862	12.1	579,124.4	20,722,006	93,599.4	56,118	1,173,652	21,951,775	30,437,573			35.44	6.2	55.1	有	無
第3号	十日町～宮中～津南	十日町車庫前	宮中	津南営業所前	21.3	3.3	24,174	13.4	323,929.8	11,078,656	39,164.1	30,002	627,472	11,736,130	12,735,759			33.91	8.3	27.3	有	無
第4号	湯沢～森宮野原	湯沢車庫前	清津峡入口	森宮野原駅前	40.0	4	14,030	18	252,536.3	7,721,632	55,276.8	74,111	659,220	8,454,963	17,091,576			29.87	4.6	18.4	有	無
合計					81.1		86,065		1,155,590	39,522,293	188,040.2	160,231	2,460,344	42,142,868	60,264,908							

〔記載要領〕

1. この書類は、補助対象期間（補助金交付要綱第5条で定める期間）の実績について、補助対象期間の末日現在における状態に応じて、運行系統ごとに作成すること（補助対象系統のみ記載すること）。

2. 申請番号は、地域公共交通計画認定申請書の申請番号と同一のものとする。

3. 起点及び終点は停留所名をもって記載し、主な経由地は他の運行系統と区別できる停留所名をもって記載し、キロ程は小数点以下第1位まで記載すること。

4. 運行回数は、補助対象期間における1日の平均を小数点第1位（第2位以下切り捨て）まで算出して記載すること。なお1往復を運行回数1回とし、循環系統の場合は、1循環で運行回数1回とする。

5. 1人平均乗車キロは、運行系統ごとに実態調査に基づいて記載すること。

6. 輸送人キロは、輸送人員 × 1人平均乗車キロにより算出すること。

7. 運送収入は、当該運行系統の補助対象期間の運送収入について、原則として年1回以上実態調査を実施し、その結果により算出すること。また、実態調査日についても記載すること。

8. 実車走行キロは、小数点第1位（第2位以下切り捨て）まで算出して記載すること。

9. 1系統当たり経常費用は、補助対象事業者の実車走行キロ当たり経常費用に当該系統の実車走行キロを乗じたものとする。

10. 平均賃率は、停留所相互間総運賃額 ÷ 停留所相互間総キロにより銭単位まで算出すること（銭未満切捨て）。ただし、補助対象期間中に運賃改定があった場合の当該運行系統の平均賃率は、表中の計算式により算出すること。なお、この場合において、ストライキ、積雪等の理由によりバスが運行されなかった日は適用日数から除くものとする。

11. 平均乗車密度は(B) ÷ (C) ÷ (F)と連算し、その値について、小数点第1位（第2位以下切り捨て）まで算出すること。

12. 備考欄には、補助対象期間中に運行回数の変更があった場合、ストライキ、積雪等の理由によりバスが運行されなかった期間があった場合又は運賃改定があった場合等特記すべき事項について、変更年月日又は期間及びその内容を記載すること。

13. 各運行系統のキロ程、輸送人員、輸送人キロ、運送収入、実車走行キロ、運送雑収及び営業外収益の合計欄については必ず記載すること。

14. 市町村による回数券購入等の有無は、運送収入に含まれるものの有無について記載すること。

事業者名	南越後観光バス株式会社	
運行計画担当部門	<small>(担当部門の名称)</small> 乗合営業部	<small>(責任者役職、氏名)</small> 部長代理 武藤 文昭
補助金担当部門	<small>(担当部門の名称)</small> 乗合営業部乗合バス課	<small>(責任者役職、氏名)</small> 課長 関 正太

運行系統別輸送実績及び平均乗車密度算定表（令和 6 年度）

運行系統							年間輸送実績					経常収益			経常費用	平均乗車密度算定			輸送量 (A) × (G)	市町村 による 回数券 購入等 の有無	備 考
申請 番号	運 行 系統名	起点	主 な 経由地	終点	キロ程 (km)	運行 回数 (A) (回)	輸送人員 (人)	1 人平均 乗車キロ (km)	輸 送 人キロ (人・km)	運送収入 (B) (円)	実車走行 キロ (C) (km)	運送雑収 (D) (円)	営業外 収 益 (E) (円)	計 (B) + (D) + (E)	1 系統当り 経常費用 (円)	運賃改定前 適用 運賃改定後 適用 の平均賃率 × 日数 + の平均賃率 × 日 数 総適用日数	平 均 賃 率 (F) (円)	平均乗 車 密 度 (B) / (C) / (F) (G)			
第2号	十日町～中里～津南	十日町車庫前	中里	津南営業所前	19.8	8.9	51,528	12.0	618,338.8	22,121,931	87,500.1	171,129	110,716	22,403,776	29,935,520		35.44	7.1	63.1	有	無
第3号	十日町～宮中～津南	十日町車庫前	宮中	津南営業所前	21.3	3.3	26,025	13.3	346,127.3	11,863,611	37,224.8	91,774	59,375	12,014,760	12,735,355		33.91	9.3	30.6	有	無
第4号	湯沢～森宮野原	湯沢車庫前	清津峡入口	森宮野原駅前	40.0	4.0	16,303	17.2	280,417.3	8,504,125	55,428.2	107,452	44,142	8,655,719	17,282,516		29.87	5.1	20.4	有	無
合計					81.1		93,856		1,244,883	42,489,667	180,153.1	370,355	214,233	43,074,255	59,953,391						

[記載要領]

1. この書類は、補助対象期間（補助金交付要綱第5条で定める期間）の実績について、補助対象期間の末日現在における状態に応じて、運行系統ごとに作成すること（補助対象系統のみ記載すること）。

2. 申請番号は、地域公共交通計画認定申請書の申請番号と同一のものとする。

3. 起点及び終点は停留所名をもって記載し、主な経由地は他の運行系統と区別できる停留所名をもって記載し、キロ程は小数点以下第1位まで記載すること。

4. 運行回数は、補助対象期間における1日の平均を小数点第1位（第2位以下切り捨て）まで算出して記載すること。なお1往復を運行回数1回とし、循環系統の場合は、1循環で運行回数1回とする。

5. 1人平均乗車キロは、運行系統ごとに実態調査に基づいて記載すること。

6. 輸送人キロは、輸送人員 × 1人平均乗車キロにより算出すること。

7. 運送収入は、当該運行系統の補助対象期間の運送収入について、原則として年1回以上実態調査を実施し、その結果により算出すること。また、実態調査日についても記載すること。

8. 実車走行キロは、小数点第1位（第2位以下切り捨て）まで算出して記載すること。

9. 1系統当り経常費用は、補助対象事業者の実車走行キロ当たり経常費用に当該系統の実車走行キロを乗じたものとする。

10. 平均賃率は、停留所相互間総運賃額 ÷ 停留所相互間総キロにより銭単位まで算出すること（銭未満切り捨て）。ただし、補助対象期間中に運賃改定があった場合の当該運行系統の平均賃率は、表中の計算式により算出すること。なお、この場合において、ストライキ、積雪等の理由によりバスが運行されなかった日は適用日数から除くものとする。

11. 平均乗車密度は(B) ÷ (C) ÷ (F)と連算し、その値について、小数点第1位（第2位以下切り捨て）まで算出すること。

12. 備考欄には、補助対象期間中に運行回数の変更があった場合、ストライキ、積雪等の理由によりバスが運行されなかった期間があった場合又は運賃改定があった場合等特記すべき事項について、変更年月日又は期間及びその内容を記載すること。

13. 各運行系統のキロ程、輸送人員、輸送人キロ、運送収入、実車走行キロ、運送雑収及び営業外収益の合計欄については必ず記載すること。

14. 市町村による回数券購入等の有無は、運送収入に含まれるものの有無について記載すること。

表3 運行回数3回以上の要件緩和を希望する系統の概要

南越後観光バス株式会社

[illegible]

表4 広域行政圏の中心市町村に準ずるとして新たに指定を受けようとする市町村の概要

(事業者名)南越後観光バス株式会社

[illegible]

路線図(越後交通株式会社)

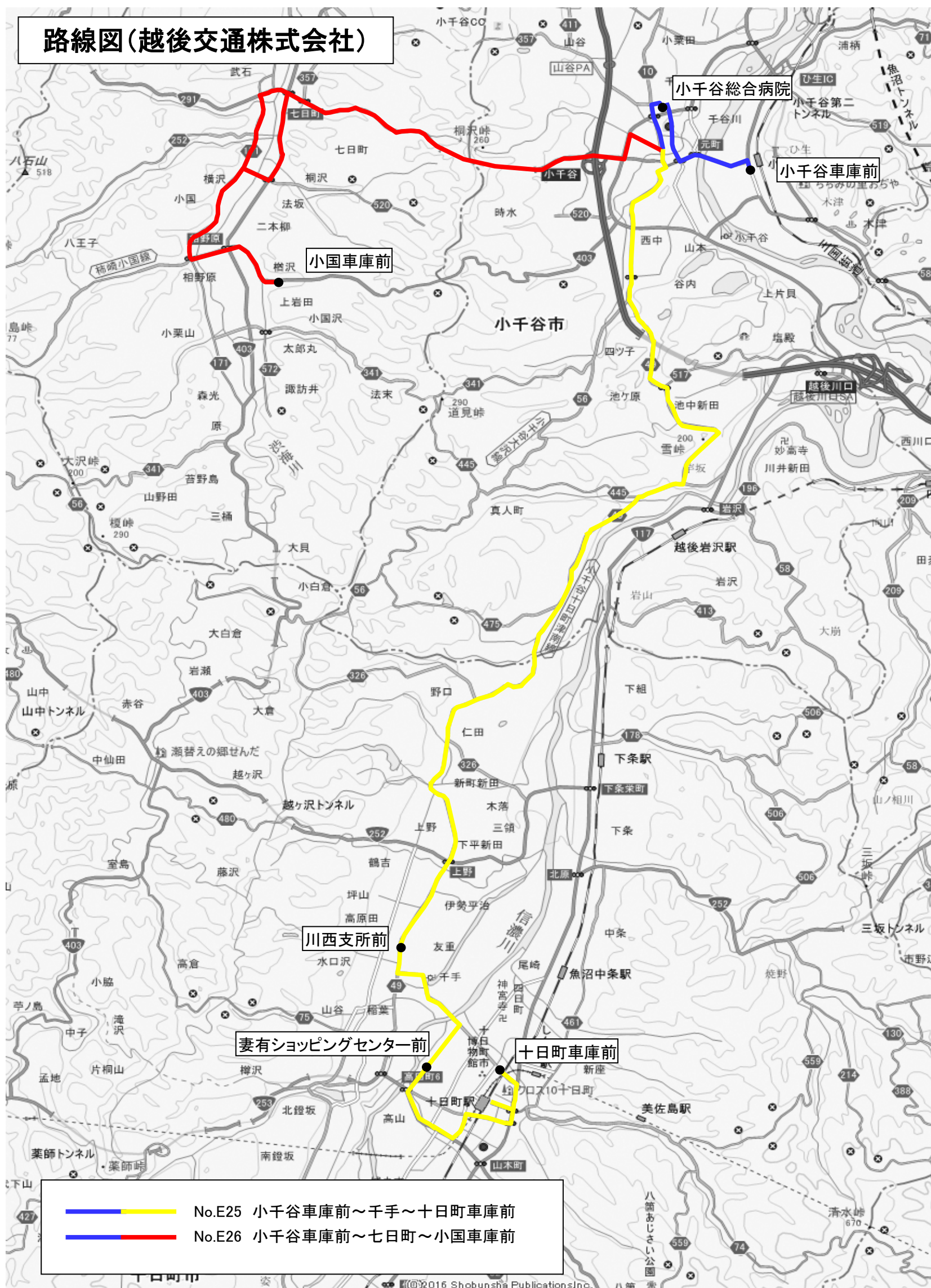
長岡駅前

小千谷病院

十日町車庫前

- No.E13-1 長岡駅前～小千谷・十日町病院～十日町車庫前
- No.E13-2 長岡駅前～小千谷・十日町駅西口～十日町車庫前
- No.E13-3 長岡駅前～小千谷病院・十日町病院～十日町車庫前

路線図(越後交通株式会社)



路線図

南越後観光バス株式会社

十日町駅前
十日町車庫前
本町1丁目
土市駅前
土市駅
越後水沢駅
宮中三叉路
山崎
中里支所前
津南営業所前
津南

——— 十日町車庫前～中里～津南営業所前 線
——— 十日町車庫前～宮中～津南営業所前 線

路線図

南越後観光バス株式会社

十日町駅前
十日町車庫前
本町1丁目
土市駅前
土市駅
越後水沢駅
宮中三叉路
山崎
中里支所前
津南営業所前
津南

——— 十日町車庫前～中里～津南営業所前 線
——— 十日町車庫前～宮中～津南営業所前 線

路線図

南越後観光バス株式会社

十町車庫前

十町駅前

本町1丁目

土市駅前

土市駅

越後水沢駅

宮中三叉路

山崎

中里支所前

津南営業所前

津南

中魚沼郡

中津川

中野山

当間山

越後水沢

飯山線

津南駅

越後田中駅

水山

有倉

薬師峠トンネル

横観山

253

353

405

117

300

400

500

600

700

800

900

1000

1100

1200

1300

1400

1500

1600

1700

1800

1900

2000

2100

2200

2300

2400

2500

2600

2700

2800

2900

3000

3100

3200

3300

3400

3500

3600

3700

3800

3900

4000

4100

4200

4300

4400

4500

4600

4700

4800

4900

5000

5100

5200

5300

5400

5500

5600

5700

5800

5900

6000

6100

6200

6300

6400

6500

6600

6700

6800

6900

7000

7100

7200

7300

7400

7500

7600

7700

7800

7900

8000

8100

8200

8300

8400

8500

8600

8700

8800

8900

9000

9100

9200

9300

9400

9500

9600

9700

9800

9900

10000

10100

10200

10300

10400

10500

10600

10700

10800

10900

11000

11100

11200

11300

11400

11500

11600

11700

11800

11900

12000

12100

12200

12300

12400

12500

12600

12700

12800

12900

13000

13100

13200

13300

13400

13500

13600

13700

13800

13900

14000

14100

14200

14300

14400

14500

14600

14700

14800

14900

15000

15100

15200

15300

15400

15500

15600

15700

15800

15900

16000

16100

16200

16300

16400

16500

16600

16700

16800

16900

17000

17100

17200

17300

17400

17500

17600

17700

17800

17900

18000

18100

18200

18300

18400

18500

18600

18700

18800

18900

19000

19100

19200

19300

19400

19500

19600

19700

19800

19900

20000

20100

20200

20300

20400

20500

20600

20700

20800

20900

21000

21100

21200

21300

21400

21500

21600

21700

21800

21900

22000

22100

22200

22300

22400

22500

22600

22700

22800

22900

23000

23100

23200

23300

23400

23500

23600

23700

23800

23900

24000

24100

24200

24300

24400

24500

24600

24700

24800

24900

25000

25100

25200

25300

25400

25500

25600

25700

25800

25900

26000

26100

26200

26300

26400

26500

26600

26700

26800

26900

27000

27100

27200

27300

27400

27500

27600

27700

27800

27900

28000

28100

28200

28300

28400

28500

28600

28700

28800

28900

29000

29100

29200

29300

29400

29500

29600

29700

29800

29900

30000

30100

30200

30300

30400

30500

30600

30700

30800

30900

31000

31100

31200

31300

31400

31500

31600

31700

31800

31900

32000

32100

32200

32300

32400

32500

32600

32700

32800

32900

33000

33100

33200

33300

33400

33500

33600

33700

33800

33900

34000

34100

34200

34300

34400

34500

34600

34700

34800

34900

35000

35

路線図

南越後観光バス株式会社

十日町車庫前
十日町駅前
本町1丁目
土市駅前
土市駅
越後水沢駅
宮中三叉路
山崎
中里支所前
津南営業所前
津南

——— 十日町車庫前～中里～津南営業所前 線
——— 十日町車庫前～宮中～津南営業所前 線

路線図

南越後観光バス株式会社

十日町駅前
十日町車庫前
本町1丁目
土市駅前
土市駅
越後水沢駅
宮中三叉路
山崎
中里支所前
津南営業所前
津南

——— 十日町車庫前～中里～津南営業所前線
——— 十日町車庫前～宮中～津南営業所前線

路線図

南越後観光バス株式会社

十日町駅前

十日町駅前

本町1丁目

土市駅前

土市駅

越後水沢駅

宮中三叉路

山崎

中里支所前

津南営業所前

津南

中魚沼郡

十日町車庫前～中里～津南営業所前 線

十日町車庫前～宮中～津南営業所前 線

路線図

南越後観光バス株式会社

十日町駅前

十日町駅前

本町1丁目

土市駅前

土市駅

越後水沢駅

宮中三叉路

山崎

中里支所前

津南営業所前

津南

中魚沼郡

十日町車庫前～中里～津南営業所前 線

十日町車庫前～宮中～津南営業所前 線

路線図

南越後観光バス株式会社

十日町駅前

十日町駅前

本町1丁目

土市駅前

土市駅

越後水沢駅

宮中三叉路

山崎

中里支所前

津南営業所前

津南

中魚沼郡

十日町車庫前～中里～津南営業所前 線

十日町車庫前～宮中～津南営業所前 線

路線図

南越後観光バス株式会社

十日町駅前

十日町駅前

本町1丁目

土市駅前

土市駅

越後水沢駅

宮中三叉路

山崎

中里支所前

津南営業所前

津南

中魚沼郡

十日町車庫前～中里～津南営業所前 線

十日町車庫前～宮中～津南営業所前 線

路線図

南越後観光バス株式会社

十日町駅前
十日町車庫前
本町1丁目
土市駅前
土市駅
越後水沢駅
宮中三叉路
山崎
中里支所前
津南営業所前
津南

十日町車庫前～中里～津南営業所前線
十日町車庫前～宮中～津南営業所前線

路線図

南越後観光バス株式会社

十日町駅前
十日町車庫前
本町1丁目
土市駅前
土市駅
越後水沢駅
宮中三叉路
山崎
中里支所前
津南営業所前
津南

——— 十日町車庫前～中里～津南営業所前線
——— 十日町車庫前～宮中～津南営業所前線

路線図

南越後観光バス株式会社

十日町車庫前
十日町駅前
本町1丁目
土市駅前
土市駅
越後水沢駅
宮中三叉路
山崎
中里支所前
津南営業所前
津南

——— 十日町車庫前～中里～津南営業所前 線
——— 十日町車庫前～宮中～津南営業所前 線

路線図

南越後観光バス株式会社

十日町車庫前

十日町駅前

本町1丁目

土市駅前

宮中三叉路

山崎

中里支所前

津南営業所前

津南

十日町車庫前～中里～津南営業所前 線

十日町車庫前～宮中～津南営業所前 線

路線図

南越後観光バス株式会社



別紙 生産性向上の取組

都道府県	運行予定者名	番号	運行系統名	系統毎の取組	取組の実施主体	効果目標	実施に向けたスケジュール	実施時期
新潟県	越後交通株式会社	E13	長岡～十日町	⑤、⑪	越後交通株式会社	R6年度収支率101%の379,881円増加を目標	実施時期までに検討	令和8年春
	越後交通株式会社	E25	小千谷～十日町	⑤、⑪	越後交通株式会社	R6年度収支率101%の215,337円増加を目標	実施時期までに検討	令和8年春
	南越後観光バス株式会社	2	十日町～中里～津南	⑤⑦	南越後観光バス株式会社	運送費用の削減、関係路線と連携し輸送人員増加に努め、1%以上の収支改善を目標とする。	令和8年1月頃までに検討	令和8年4月実施予定
	南越後観光バス株式会社	3	十日町～宮中～津南	⑤⑦	南越後観光バス株式会社	運送費用の削減、関係路線と連携し輸送人員増加に努め、1%以上の収支改善を目標とする。	令和8年1月頃までに検討	令和8年4月実施予定
	南越後観光バス株式会社	4	湯沢～森宮野原	⑤⑦	南越後観光バス株式会社	運送費用の削減、関係路線と連携し輸送人員増加に努め、1%以上の収支改善を目標とする。	令和8年1月頃までに検討	令和8年4月実施予定

系統毎の取組

ダイヤ調整

⑤競合路線との時刻調整

⑦ダイヤ改正（路線バスとの乗継ダイヤの設定）

運賃、企画乗車券

⑪1日乗り放題券の活用による輸送人員の拡大